

# 青空機械新聞

2026年2月

発行  
第31号

業界ニュースとトレンド紹介

## 2025年の振り返り

日米それぞれで2025年通期の工作機械受注額が公表され、その結果は両国の経済状況の違いをハッキリと表すものでした。

2025年の復習と、その結果から2026年はどう動くべきかを皆様一人ひとりがご自身で考え、最善の行動をして頂きたいと思います。

## 日本国内受注数字

2025年12月受注額：約**399億円**

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**24.8%増**、前年同月比同じとなりました。

12月は建機、電気以外のほぼすべての業種で前月比**プラス**となり、特に鉄工所、自動車、精密機械(半導体関連含む)からの受注が大幅に伸びました。

2025年通期は4,400億円となり、前年比で**0.2%減**でした。業種別の数字を通期で見ると、前年を上回った業種は建機、金型、電気、航空機のみでした。航空機に関しては大型受注が目立ち、前年比**45.8%増**と大幅な伸びを記録しました。

また、外需を含めた通期での受注総額は1兆6,000億円となり、前年比**8.0%増**と3年ぶりに1.6兆円を上回る数字を記録しました。内需と外需の割合は27：73でした。

### 発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：aoki@bsmt.co.jp

## 半端なく強かったアメリカの製造業 in 2025

2025年12月米国機械受注額  
**\$814.3million**(約1,262億円  
/\$1=¥155換算)

12月は前月比**86.7%増**、前年同月比**59.9%増**となりました。

2025年12月の受注額は単月の受注額で**過去最高**を記録しました。通期で**\$5.74billion**(約8,900億円)、前年比**22.5%増**の大幅な伸びとなりました。2024年9月のシカゴショーを契機に米国製造業は回復基調に入り、2025年は金利緩和、設備投資に有利な税制措置によって一段と加速しました。

工作機械の最大の顧客である鉄工所からの受注は通期で前年比**19.1%増加**し、航空宇宙関連は2024年比で**45.1%増加**しました。航空宇宙関連では受注単価が高



額になる傾向が強く、全体の受注金額を押し上げる要因となっております。また、AIへの投資増加に伴うデータセンター増加による電力需要増加に対応する為の発電設備への投資、トランプ政策によるアメリカ国内でのモノづくり回帰に伴う一次金属メーカーによる積極的な設備投資、2025年に最も数字を伸ばした半導体製造装置関連(前年比**121.5%増**)など、アメリカでは明るく、且つ、強い材料が多く、2026年も引き続き見通しは良いと予測されています。(AMTレポートより)

## 2026年1月 米国自動車販売台数(新車)

2026年1月米国新車販売台数は前年同月比**0.2%減**の**110万4,953台**でした。1月の季節調整済み年率換算販売(SAAR)は1,490万台/年(前年同月1,550万台/年)でした。

1月の米国自動車販売は、電気自動車(EV)購入に対する連邦税控除終了や車両価格の上昇が需要を圧迫し、市場が減速しつつあります。加えて、1月は例年、新車販売が低調であり、更に月後半に広

範囲を襲った悪天候が販売台数を一段と押し下げました。

米国メーカーの1月販売は、GMが前年同月比**1.4%減**と2025年10月以降4カ月連続のマイナスとなりました。フォードも**5.5%減**と苦戦、ステランティスは**1.2%増**でした。テスラは**9.5%増**と4カ月ぶりにプラスに転じました。同社はEV連邦税控除終了への対応策として昨年10月に「Model 3」と「Model Y」に廉価グレードを投入しております。

日本車の1月販売は、トヨタ、ホンダ、日産がともに前年同月から増加しました。トヨタは前年同月比**7.9%増**と11カ月連続のプラスとなり、ホンダは**1.9%増**、日産は**4.9%増**と2カ月連続のプラスとなりました。他方、スバルは**9.1%減**、マツダは**14.0%減**、三菱は**17.0%減**となりました。スバル、マツダともに6カ月連続の前年割れとなりました。

韓国車の1月販売は、現代自、起亜ともに前年同月から

増加しました。現代自は**2.8%増**、起亜は**19.1%増**で7カ月連続のプラスでした。

欧州車の1月販売はほとんどのブランドで前年同月より減少し、VWが**9.5%減**、メルセデス・ベンツが**4.5%減**、BMWが**9.7%減**、ボルボが**36.5%減**となり、アウディだけが**9.6%増**と前年同月を上回りました。

(マークライنزより)

## いつまでもあると思うな『在庫』と『特価』

3月は多くの工作機械メーカーの決算月となっており、各社が3月売上(納入)を目指して短納機の特価キャンペーンを強化しております。しかしここに来て、各社の受注活動が活発になっており、短納機・即納機が急激に数を減らしております。一部のメーカーでは大型受注もあり、一部の機種(機種というよりは機械種類)の在庫及び短納機が全て売れてしまい、次の機械完成(出荷)は8月以降になるケースも出てきました。また、今後もインフレが続き、需要が更に増えた場合、メーカーの値引きは減少されることが予想されます。

今ならまだ間に合います！！設備の更新、増設を少しでも検討している方は早急の準備を強くオススメします。



↓まだお得に購入できる機械種類は下記になります↓

ワイヤー放電加工機

形彫り放電加工機

立形マシニングセンタ(#30、#40、#50)

横形マシニングセンタ(#30、#40、#50)

5軸マシニングセンタ(※一部メーカー・機種のみ)

※ここに来て、5軸MC需要が爆増し、在庫が急激に減少。

NC旋盤(2軸、複合機)

平面研削盤

三次元測定機

メーカーや機種、サイズ、仕様等の詳細は当社にお気軽にお問合せください。特に一部メーカーの横形MC、ワイヤー放電加工機に関してはサプライズ価格をご用意しております。皆が忙しくなって、皆が機械を買いだしたら、納期は更に長くなります。今購入し、即お仕事にお使い頂ければと思います。採択されるか分からない補助金より、確実に『今』引き出せる大幅値引きをオススメします！！

## 機械購入の資金調達方法のアドバイスもさせていただきます！！

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

TEL : **070-8303-6632**

FAX : **050-3588-8241**

E-mail : **aoki@bsmt.co.jp**

青空機械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

### 青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)

2009年 (株)兼松KGK 入社

2010年

↓ 同社新潟営業所勤務

2016年

2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社

2017年

↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向

2020年

2021年 ユアサ商事(株) 入社

↓

同社新潟支店勤務

2024年

2024年 (株)青空機械 設立